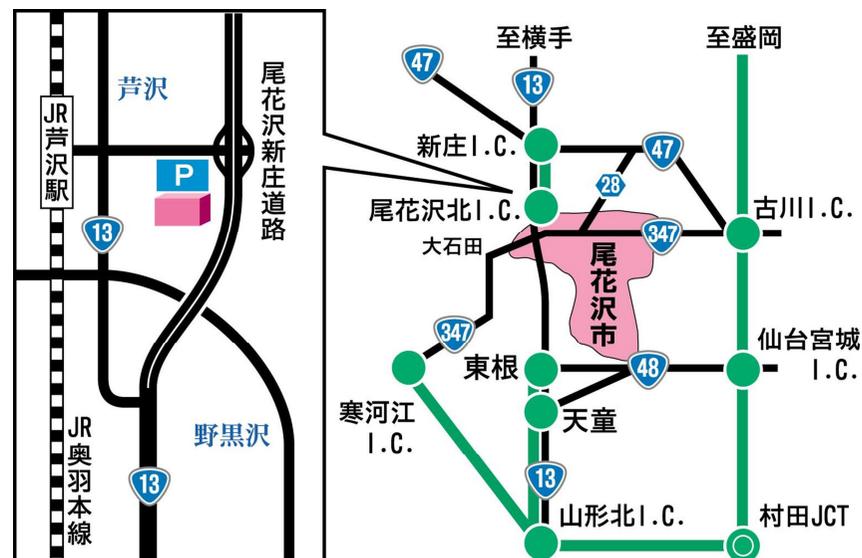
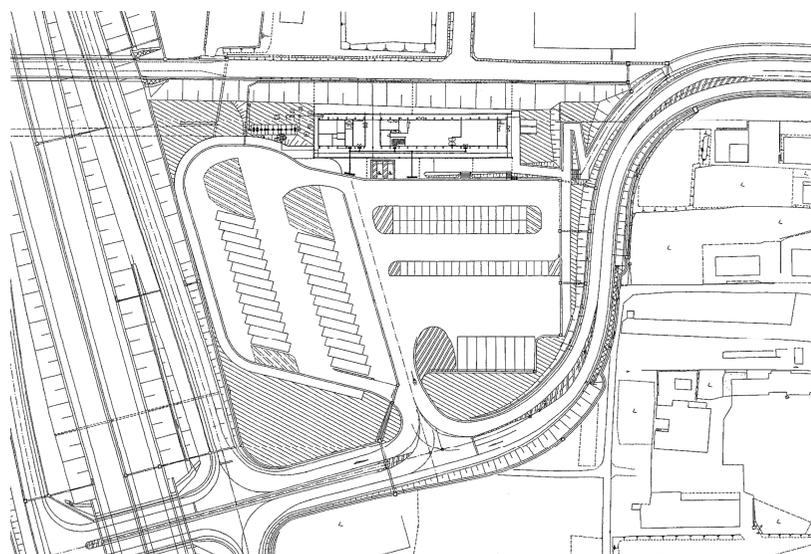


道の駅尾花沢の状況について

1. 「道の駅尾花沢」の概要

道の駅尾花沢は、平成19年8月に本市の産業並びに観光振興、地域の活性化に寄与することを目的として設置され、今年(令和6年度)で17年目を迎えました。

- 総事業費 7億5千万円(内建築費2億7千万円)
- 施設規模
 - ・敷地面積 15,410 m²(内建築面積 557 m²)
 - ・駐車場合計 92台(大型 34台、小型 56台、思いやり駐車2台)
- 情報施設 面積 40 m² 情報ラウンジ、道路情報掲示板、プラズマディスプレイ等



2. 「道の駅尾花沢」の実績（過去5年分）

令和2～4年度については、新型コロナウイルスが猛威を奮っていた時期のため利用者数・収益状況ともに低調でした。

しかしながら、令和4年の後半にコロナが落ち着いたことや、同年10月に村山ー大石田村山間が開通し首都圏まで繋がったことで、令和5年度はこれまでで最も高い実績となりました。

	利用者数	売上げ	収益状況
令和元年	369千人	231百万円	4百万円の黒字
令和2年	273千人	174百万円	6百万円の赤字
令和3年	259千人	183百万円	百万円の赤字
令和4年	317千人	234百万円	4百万円の黒字
令和5年	374千人	279百万円	16百万円の黒字

3. 新たな課題

「道の駅」の利用者数・収益状況ともに増となり、黒字に至っては過去最高の金額となりましたが、それに伴い新たな問題が発生しております。とくに多かったのは「男性トイレ個室コーナーが少ない」で、これまでこの種の苦情が寄せられたことはありません。

●道の駅男性トイレ施設数内訳

男性用(小):7器 (個室):2器

首都圏まで開通したことで、観光バス(インバウンド含む)での来訪が増え、以前よりも多くのお客さんがいらっしゃるようになった一方、その副反応として起こっている現象だと思われます。

しかも先に述べたように、この施設は17年目を迎え老朽化が進んでいるため、常に万全な体制でトイレを提供できるわけではありません。

また、本施設のある地域は下水道供用地区ではないため浄化槽を利用していることから(容量の問題があり)安易に増設することもできず、さらに管理区分が市ではないため単独では改修もままならない状況です。

4. 結び

「道の駅尾花沢」は、東北中央自動車道が開通したことで、17年目にしてようやく独り立ち(指定管理料がなくとも運営)できる施設に成長しましたが、課題が尽きることはありません。「道の駅」を適切に維持・運営していくためには国と連携、協力して課題に取り組んでいくことが必要不可欠です。

利用されるお客様に「居心地がよかった」「また来たい」と感じていただけるようこれまで以上に連携強化に努め、運営に取り組んで参ります。

「大正ロマン」銀山温泉

ご静聴ありがとうございました★